



# 会報



会報はご家族みんなで読みましょう

THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ  
OF TSURUOKA

齋藤得四郎氏絵

第688回例会 1973.1.30 (火) くもり No.29

例会日 火曜日 12時30分  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
会長 阿部 襄 幹事 市川輝雄

*Let's Take A New Look!*

「もう一度見直そう」

## ■出席報告

本日の出席  
会 員 数 67名  
出 席 数 47名  
出 席 率 70.15%

前回の出席  
前 回 出 席 率 63.08%  
修 正 出 席 数 52名  
確 定 出 席 率 80.00%

欠 席 者  
阿宗君、阿部(公)君、風間君、長谷川君  
橋浦君、平田君、池内君、五十嵐(三)君

金井君、黒谷君、中野君、嶺岸君、三浦君  
中山君、齋藤(信)君、佐藤(忠)君、笹原君  
篠原君、谷口君、富樫君

## ■マークアップ

安藤君—山形南RC  
藪田君—米沢RC  
阿宗君—新庄RC  
高橋君—天童RC  
海東君、黒谷君、小池君、嶺岸君、三井(健)  
君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君—鶴岡西RC

## ■ビジター

帯谷義雄君、佐藤拓君—鶴岡西RC

## ■司 会 阿 部 会 長

### ■ロータリーソング「奉仕の理想」

### ■会長報告 国際ロータリーニュースより

○インターアクト又はローターアクトクラブを提唱すれば、ロータリークラブにどんな効果をもたらすか？ ある調査で300を越える提唱クラブがこの質問に応答しその82%が青年たちとの提携はなし甲斐のあることだと表明しています。そしてそれは

○青少年と年輩層との間に心のつながりを作りだしたが、それが相互間の問題と見解をより良く理解し合う出発点となるものであるから、それは個々のロータリアンとその所属クラブが対地域社会の企画、特に青少年奉仕事業により積極的に取組むための刺激としての役目を果たしてきたことを明示している。

○提唱のインターアクト又はローターアクトクラブと協力して計画を遂行したロータリークラブはたくさんあるが、その成功は青年たちの才能、精力そして熱烈な実行方法に負うところが多かった。このような協同の努力が「誇りと」成し遂げたと云う意識を産んだのだ。

○提唱は余り又はぜんぜん効果はなかったと述べた16%のロータリークラブは、ほんのわずかな会員しか実際に参加しなかったことを表わしていた。

青少年との緊密な提携によってこそクラブ活動は活発化するものである。と云う見解が

出されました。当クラブはインターアクト、ローターアクトクラブを共にかかえておるわけですが、全員が参加する中で共に活動を活発にして行くよう更に努力をお願いします。

○津田君 新居落成スマイル おめでとう。

### ■幹事報告

○例会日時場所の変更

酒田RC 2月7日を2月10日に新年会  
PM6.00 湯ノ浜 つるや一泊

遊佐RC 2月6日を2月3日2時  
節分会のため 吹浦海禅寺  
2月13日 職場見学 3時  
吹浦東北泉酒造場

寒河江RC 1月25日 PM5時20分  
クラブアッセンブリーのため  
2月1日 PM5時30分  
交換学生歓送迎会  
ともに 伊勢屋会議室

鶴岡ロータリークラブ殿

遊佐ロータリークラブ  
幹事 佐藤 哲 弥

### 交換学生の受入について

毎度格別の御芳情にあづかり厚く御礼申し上げます。処で当クラブ懸案の交換学生の受入であります但予定どおり1月20日無事に着地いたしました。1月23日より県立遊佐高等学校の1年生に入学致しております。今後何かと貴クラブの御世話様に相成ることと存じますがよろし

くご指導賜りますようお願いの方々御報告申し上げます。尚ミスウエンデイは毎月第1例会日に当クラブ例会に出席することになっておりますので申添えます。

### 〔交換学生の紹介〕

名前 ウエンデイ・エリザベス

ホールデンソン

年令 16才6ヶ月

趣味 絵画、音楽、ピアノ、ギター、  
水泳、ヨット

将来の設計、希望

大学では社会学を専攻し教育社会福祉のために役に立ちたい

ロータリー交換学生の役目

オーストラリアの親善大使として国際間の親善と理解を深めるための認識に努め最善をつくして義務を果たします。

他のロータリークラブでオーストラリアの事についてお話が出来ますか。

どのようなグループにでも喜んでお話をいたします。 以上

### ○鶴岡西クラブよりの依頼

昭和48年6月23日、24日の両日行なはれます第353地区地区協議会に於いて下記の件貴クラブより御引受け下さる様特段の御配慮をお願い申し上げます。

### 記

1. 食事委員、交通委員会の一切及び救護
  1. 部門別協議会に於ける四部門の記録一切
- 以上

この件について明31日鶴岡西クラブと打合せを山王閣で行います。幹事、小池君、高橋君、三井(賢)君、とで出席しますが他の会員の参加をお願いします。

### ▷新会員の紹介

○菅 健君〔スゲ タケン〕

推薦者 五十嵐八郎君

生年月日 大正12年9月19日生

自宅 鶴岡市家中新町2〜20

会社 荘内証券鶴岡支店 支店長

奥様 菅美千代様

ご結婚 昭和27年11月21日

お子様 菅かおり様 18才

菅均様 15才

ご出身校 県立鶴岡工業高校

趣味 多才

○佐藤 衛君〔サトウ マモル〕

推薦者 佐藤伊和治君

生年月日 昭和7年11月27日

自宅 鶴岡市千石町7—32

会社 株式会社 温海佐藤組

代表取締役 鶴岡営業所所長

職業 建設業

奥様 佐藤晴子様

ご結婚 昭和31年12月2日

お子様 佐藤武夫君 15才

佐藤正晴君 12才

佐藤律様 5才

ご出身校 日本大学工学部建築課卒業

趣味 麻雀、ゴルフ、その他

## ▷スピーチ

### 「全国経営者大会セミナーに 参加しての所感」

小池繁治君

このセミナーに参加して3日間のことを全部報告しかねますので、その中で特に印象に残った事柄を申し上げます。丁度3日目にベトナム和平が発表され、それと呼応するかのように各講師とも激動する今後の世界の中に於ける日本と云う課題で講演されておりました。今迄ですと日本の国内については物を豊富にして豊かな国にするのだ。なるのだとばかりに専念しすぎて来たのではないか。今後は国際的理解のもとにやっつけかなくてはいけない。と云うのが基本でありました。一般に今迄は物質が主体であり物を豊かにすれば良いのだとばかりに物質を中心としておいつめて行った先が——ムナシサ——として返って来ている。心をおき忘れてきた失敗を反省してゆこうとしておりました。

尚、川端康成がノーベル文化賞を受賞した時「美しい日本と私」でなくて「美しい日本の私」と題して「と」ではなく「の」で講演されたことを禅宗の山田さんが言葉のもつ意味を含んで話をされておりました。「先生と生徒」「生徒と先生」この「と」は対立感情を表現する。「先生の生徒」「生徒の先生」と云う立場で考える方が良いのではないかと語られておりました。

又「プロとアマ」の違いは何かの対談の中でプロは休むことを知っているかと答えておりました。おいつめられた時、勝とうと思ったら

必ず負ける。これ以上一步もひけないのだからこれ以上悪くならない様な手だてを考へる。あせってもっと良い手を使う気持ではなくてこれ以上悪くならないよう一逆説的ですが休むこと一をプロは知っておると云っており、結果は勝つ道につながると云っておりました。

以上